

《 環境基本計画の理念 》

人は、空気、水、大地、太陽など、自然の恩恵のもとで生存しています。

私たちの能勢町は、大阪府の北端に位置し、豊かな自然と歴史に恵まれて生命をはぐくみ、天与の自然美に先人の努力を積み重ねて、独自の文化をもつ町として発展してきました。

しかし、近年、都市化の進展や資源・エネルギーの大量消費などを伴った社会経済活動は、私たちの町へも押し寄せ、生活形態は大きく変わりつつあります。身近な自然を減少させ、環境への負荷の急速な増大をもたらすことは、私たちを取り巻く生態系の微妙な均衡と循環にも影響を及ぼすこととなり、同時に、すべての生きものの生命の源であり、人類の存続の基盤であるかけがえのない環境の、地球規模での損失につながることを認識しなければなりません。

一方で、能勢町は、予期しないダイオキシン問題により全国的な注目を集めることになり、静かな山あいの町が、公害・環境問題と深い関わりをもつことを内外に知らしめることになりました。その教訓から私たちは、与えられた環境資源がかけがえのない生活の基盤であるとともに、自然の摂理には人知の及ばない境地があり、ゆえに常に最大限の配慮とおそれ・敬いの念をもってこれに接しなければならないことを学んだのです。

このため、私たちは、豊かな環境の恵みを享受する一方で、環境に対して様々な影響を与えていることや、地域の環境を良好に維持することが地球環境の保全につながることを理解し、またダイオキシン問題から得た教訓を活かして、これまでの生活や事業活動を自ら問い直し、「すべての町民の参加と協働によって地域の健全で恵み豊かな環境を保全し、自然と共存するとともに環境資源が循環的に活用される社会の実現をめざす」という価値観に支えられた文化を築いていくことが求められています。